

農工維新！田布施あい³プロジェクト～地域とともに未来を切り拓くジェネラリストの育成～

事業目的 コミュニティ・スクールの仕組みを発展させ、地域課題の解決を図る探究的な学びを通じて、地域を担う人材を育成する。

3つの“あい”で地域課題の解決を目指す取組

STAGE3 「AI(愛)」地域を愛し、地域に貢献する

地域課題解決のアイデアを実践する

- ☆4学科が連携して、地域の魅力向上の取組やイベント等の企画・立案・運営
- ☆コンソーシアムの協力・協働を得ながら、教科及び学科等の横断的な視点から具体的な取組

STAGE2 「I(自分)」自分ごととして考える

地域課題解決のアイデアを考える

- ☆専門学習の中で地域課題の解決に向けて、知識・技術を強化

STAGE1 「Eye(見る)」地域を見て知る

地域について知り、地域課題を発見する

- ☆たぶせあいレポート(地域の課題や魅力を集約した研究)の実施・情報発信



課題研究他、各学科専門科目

地域の課題を自分のこととして捉え、課題解決を図り、その内容を表現する取組

幅広い知識・技術

- ・GAP及びHACCP実践学習
- ・知的財産権実践学習
- ・農業のICT化

創造力

- ・商品開発
- ・農業・工業共同研究

協働する力

- ・ボランティア活動
- ・田布施町との協働

評価・検証
事業評価、授業評価、学習評価、卒業生評価、運営指導委員会等で点検・評価
研究授業、研究協議会等を実施
ルーブリックやポートフォリオ等の活用

《育成する地域人材像》

地域の未来を支える

- ①地域産業の担い手として幅広い知識・技術を有する人材
- ②Society5.0時代に柔軟に対応できる創造力を有する人材
- ③世代を超えて他者と協働して課題を解決できる人材

《本事業で取り組む地域課題》

地域活性化の取組

- ①農林水産業の担い手の確保と育成
- ②地域情報の発信力の強化
- ③地域コミュニティづくり

※ 田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27～R2)



山口県PR
本部長による

成果

令和3年度の成果と課題

①農林水産業の担い手の確保と育成



農業法人経営者とのディスカッション JGAPの認証

生徒あい³委員会の役割

「自分ごと」の学校づくり参画と自己・生徒集団の成長

- 情報発信** 学校HP、通信やSNS等を活用し、学校内外への情報発信と地域のコミュニティ形成、つながりづくりへの貢献
- 交流活動** 学連協委員、コンソーシアム関係者、行政職員、地域関係者等との交流や取組の実践、協議を通じた改善
- 評価分析** 生徒や地域関係者等対象の意識調査、聞き取りやルーブリック評価の実施と分析、改善への参画
- 企画運営** 学校行事、地域と連携した取組や生徒主体の主体的参加を促す取組の企画・運営、計画作成等への協力

②地域情報の発信力の強化



田布施View会議 研究委員会のオンライン開催

生徒の意識変容(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)) 「学校魅力アンケート」より

①地域産業の担い手として幅広い知識・技術を有する人材

専門的な知識・技術は身に付いたか？

82.2% (R1) → 95.7% (R3)

13ポイントup!

②Society5.0時代に柔軟に対応できる創造力を有する人材

自分の考えやいろいろな情報をまとめ、相手に伝えることができる？

55.6% (R1) → 72.9% (R3)

17ポイントup!

③世代を超えて他者と協働して課題を解決できる人材

地域の課題について考え、行動できる？

38.6% (R1) → 71.3% (R3)

33ポイントup!

③地域コミュニティづくり



町と連携してイベント開催 4学科連携による田布施地域交流館の魅力向上の取組

コミュニティ・スクールを発展させたコンソーシアムの構築

【農業の専門性をサポート】

地元企業(農業)

地元企業(工業)

農業法人

山口県立田布施農工高等学校

【教育内容サポート】

カリキュラム開発等専門家(山口大学)

農業大学校

農水省中国四国農政局南周防農地整備事務所

田布施中学校・教育委員会

【地域での実践をサポート】

地域協働学習実施支援員(田布施町郷土館)

地域交流館

PTA

田布施町

町と学校が連携・協働に関する協定書を締結

課題

- ☆研究事業への評価・検証を生かし、継続的に改善を図っていく組織体制
- ☆個々の生徒の活動における適切な評価方法の確立
- ☆地域課題解決学習と学校教育活動のバランス
- ☆地域との連携・協働を継続するための校内体制の整備